

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場会社名 東映アニメーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4816 URL <http://www.toei-anim.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 勝裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営戦略部担当 (氏名) 木下 浩之 (TEL) 03-5318-0639
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	22,639	△5.9	3,008	△0.7	3,280	△4.1	2,057	△1.9
26年3月期第3四半期	24,067	△2.6	3,030	△10.1	3,421	△7.9	2,097	△10.8

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 2,214百万円(△30.7%) 26年3月期第3四半期 3,194百万円(58.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	150.79	—
26年3月期第3四半期	153.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	49,354	40,110	81.3
26年3月期	45,816	38,510	84.1

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 40,110百万円 26年3月期 38,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期期末配当金の内訳 特別配当15円を含んでおります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	△13.0	3,200	△11.2	3,500	△11.2	2,300	△1.4	168.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期3Q	14,000,000株	26年3月期	14,000,000株
27年3月期3Q	357,937株	26年3月期	357,937株
27年3月期3Q	13,642,063株	26年3月期3Q	13,642,063株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げや円安による原材料費の高騰等もあり、持ち直しの動きが続いていた個人消費等で弱さがみられました。政府の各種政策効果により緩やかな回復傾向が続いているものの、米国の金融緩和縮小による影響、欧州や中国をはじめとする新興国経済の先行きに対する懸念等、海外景気の下振れリスクによる不安定な要素も抱えております。

当社グループを取り巻く事業環境におきましても、依然として少子化やテレビ用アニメーションの視聴率低下傾向、娯楽の多様化等により厳しい状況が続いておりますが、一方では劇場用アニメーションの活況や定額課金の普及による映像配信の伸張、フルCGアニメーションの台頭、スマートフォンやタブレット型端末向けアプリ等の新たなメディアやサービスの拡大の他、政府によるコンテンツ支援策の下、持ち直しが期待される海外市場等、アニメーションビジネスの成長機会が見込まれる分野も数多くあります。

こうしたなか、当社グループは、国内で「ワンピース」、「ハピネスチャージプリキュア!」、「聖闘士星矢」シリーズ、海外で「ワンピース」、「ドラゴンボール」シリーズ、「聖闘士星矢」シリーズを主とした、テレビ・映画・ブルーレイ・DVD・携帯端末・インターネット等への映像製作・販売事業や、キャラクターライセンス等の著作権事業、キャラクター商品の開発や販売等を行う商品販売事業、キャラクターショー等を行うその他事業を展開いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は226億39百万円（前年同期比5.9%減）、営業利益は30億8百万円（同0.7%減）、経常利益は32億80百万円（同4.1%減）、四半期純利益は20億57百万円（同1.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります（セグメント間取引金額を含みます）。
なお、セグメント損益は、営業利益ベースの数値であります。

①映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、3月に「映画プリキュアオールスターズNewStage 3」、6月に映画「聖闘士星矢 LEGEND of SANCTUARY」、10月に「映画ハピネスチャージプリキュア!」、11月に「楽園追放」を公開しました。「楽園追放」がヒットしたものの、前年同期にあった「キャプテンハーロック」や劇場版「トリコ」の製作収入や、「ドラゴンボールZ 神と神」のヒットに相当するものがなかったことから、前年同期と比較して大幅な減収となりました。

テレビアニメ部門では、「ワンピース」、「ハピネスチャージプリキュア!」、「暴れん坊力士!! 松太郎」、「ドラゴンボール改」、「マジンボーン」、「金田一少年の事件簿R」、「ワールドトリガー」、「ディスク・ウォーズ:アベンジャーズ」、「美少女戦士セーラームーン Crystal」の9作品の放映・配信を行い、新作の本数が増えたことから、大幅な増収となりました。

パッケージソフト部門では、前年同期にあった映画「ワンピースフィルム Z」や「ドラゴンボール」シリーズのブルーレイ・DVDに相当するものがなかったこと等から、大幅な減収となりました。

海外部門では、複数作品の中国向けの大口映像配信権の販売や「ドラゴンボール」シリーズや「ワンピース」の映像配信権・ビデオ化権の販売が北米向けで、またテレビ放映権の販売がアジア向けでそれぞれ好調に稼動したことから、大幅な増収となりました。

その他部門では、新たにブラウザゲーム『聖闘士星矢 ビッグバンコスモ』、『ロボットガールズZ ONLINE』を展開したものの、全体的に軟調な展開だったことから、若干の減収となりました。

この結果、売上高は101億55百万円（前年同期比2.4%減）、セグメント利益は10億81百万円（同92.1%増）となりました。

②著作権事業

国内部門では、前年同期にあったライブラリー作品の遊技機の大口契約に相当するものがなかったことや、「ワンピース」でアプリゲームが堅調に推移したものの、全体としては軟調な展開となったこと等から、前年同期と比較して大幅な減収となりました。

海外部門では、「ワンピース」や「ドラゴンボール」シリーズをはじめとする複数作品の中国向けアプリゲームの契約があったこと等から、大幅な増収となりました。

この結果、売上高は78億4百万円（前年同期比6.0%減）、セグメント利益は31億46百万円（同5.9%減）となりました。

③商品販売事業

商品販売部門では、「ワンピース」の関連商品が軟調な展開となったことや、前年同期に「ドラゴンボールZ 神と神」の劇場公開に伴うタイアップや販促関連の商品が高稼働だったことの反動減から、前年同期と比較して大幅な減収となりましたが、収益性の高い海外のイベント物販があったことから増益となりました。

この結果、売上高は37億33百万円（前年同期比17.0%減）、セグメント利益は1億11百万円（同4.5%増）となりました。

④その他事業

その他部門では、「ワンピース」の催事イベントや「ハピネスチャージプリキュア！」のキャラクターショー等を展開しました結果、前年同期と比較してほぼ横ばいとなりました。

この結果、売上高は10億60百万円（前年同期比0.7%増）、セグメント利益は1億7百万円（同20.9%減）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、現時点では平成26年10月28日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等の様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直した結果、退職給付見込額の期間帰属方法につき期間定額基準を継続適用するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債、利益剰余金及び当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,322,294	17,785,898
受取手形及び売掛金	5,573,482	6,722,215
商品及び製品	204,134	125,400
仕掛品	670,615	806,512
原材料及び貯蔵品	60,739	32,070
その他	3,578,651	3,506,022
貸倒引当金	△98,330	△104,246
流動資産合計	24,311,586	28,873,871
固定資産		
有形固定資産	3,803,951	3,759,279
無形固定資産	218,993	210,492
投資その他の資産		
投資有価証券	11,044,316	10,218,581
その他	6,479,060	6,333,673
貸倒引当金	△41,133	△41,133
投資その他の資産合計	17,482,244	16,511,122
固定資産合計	21,505,189	20,480,894
資産合計	45,816,775	49,354,766
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,235,508	5,156,718
未払法人税等	774,094	608,329
賞与引当金	239,425	121,663
その他	924,312	2,039,306
流動負債合計	6,173,340	7,926,018
固定負債		
役員退職慰労引当金	139,590	156,710
退職給付に係る負債	835,625	861,919
その他	157,540	299,286
固定負債合計	1,132,756	1,317,915
負債合計	7,306,097	9,243,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,867,575	2,867,575
資本剰余金	3,409,575	3,409,575
利益剰余金	31,779,128	33,222,180
自己株式	△543,591	△543,591
株主資本合計	37,512,687	38,955,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	854,001	947,089
為替換算調整勘定	147,153	208,794
退職給付に係る調整累計額	△3,163	△790
その他の包括利益累計額合計	997,991	1,155,093
純資産合計	38,510,678	40,110,832
負債純資産合計	45,816,775	49,354,766

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	24,067,056	22,639,183
売上原価	17,283,056	15,413,044
売上総利益	6,784,000	7,226,138
販売費及び一般管理費	3,753,876	4,217,477
営業利益	3,030,123	3,008,660
営業外収益		
受取利息	56,435	55,351
受取配当金	163,575	158,431
持分法による投資利益	79,834	23,529
その他	103,556	86,026
営業外収益合計	403,402	323,338
営業外費用		
事務所移転費用	—	38,734
投資有価証券償還損	—	12,063
その他	12,483	1,131
営業外費用合計	12,483	51,929
経常利益	3,421,042	3,280,070
税金等調整前四半期純利益	3,421,042	3,280,070
法人税、住民税及び事業税	1,290,470	1,174,228
法人税等調整額	33,561	48,791
法人税等合計	1,324,031	1,223,019
少数株主損益調整前四半期純利益	2,097,010	2,057,050
四半期純利益	2,097,010	2,057,050

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,097,010	2,057,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	790,876	83,944
為替換算調整勘定	265,178	61,641
持分法適用会社に対する持分相当額	40,954	11,515
その他の包括利益合計	1,097,009	157,101
四半期包括利益	3,194,020	2,214,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,194,020	2,214,151
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。